



外国出張報告書

平成27年12月25日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成27年12月
3. 出張目的 ため池構造調査（堤体および取水口の標高差と貯留余裕高）
Annual Meeting および対象村での最終成果説明会への出席と発表：C
4. 成果の概要

ラオス国立農林業研究所にて開催されたインドシナ農山村プロジェクトの Annual Meeting に出席し、カウンターパートと共同で 1：ビエンチャン県ナムアン村におけるため池貯留水を用いた灌漑計画策定に必要な諸元とその算出方法、2：雨季水稻の初期灌漑と乾季水田畑作のための灌漑の実施可能面積、3：灌漑を計画通りに行うためのため池管理者、村民、郡農林事務所の3者による話し合いの必要性および全員が不公平なく負担と利益を分配できる仕組み作りの重要性について報告を行った。またナムアン村で行われた最終成果説明会では、上記内容を含む担当課題の成果を農業研究センターのカウンターパートが村民に説明した。

ナムアン村の Hoi 川第4ため池の堤体においてレベル測量を実施し、水門設置で見込まれる貯水増加量の算出に必要な堤体と取水口の高低差を求めた。ビエンチャン県内の9村11ヶ所においてため池の所有・利用実態について聞き取り調査を行い、これらの村においても水田上流のため池が特定の家族により建設・所有・利用されている実態を明らかにした。